

## 効果的な家庭訪問の行い方

家庭訪問を通して、「短時間でも顔を合わせ、本人や保護者との関係を切らさない」こと、「逃げ場を作りつつ関わり続ける」ことが大切です。本人が元気になることを心がけ、誰がどの程度関わるかチームで考えることも必要です。

家庭訪問の目安は、初期であれば毎日、長期化した場合は1週間に1～2回程度など、個々の状況に配慮した対応も大切です。

### 家庭訪問を効果的に行うポイント

**①原則として、放課後に訪問しましょう。**

○ただし、本人の生活リズムに合わせ、タイミングをみて家庭訪問を行いましょう。

**②訪問する人は、ケースに応じて柔軟に対応しましょう。**

**③事前に連絡をしましょう。**

○本人に前もって心の準備をさせておくなど、負担を軽減できるように配慮しましょう。

**④会える時間に定期的に訪問をしましょう。**

**⑤会えない場合は、手紙等で担任の思いやメッセージを伝えましょう。**

**⑥学校行事予定や学級通信、教材・授業ノートなどを届けましょう。**

**⑦接し方に配慮しましょう。**

○本人や保護者が元気になることが大事。最初は「はい」「いいえ」で答えられる質問をしながら、少しずつ対話を広げていきましょう。

**⑧興味・関心のある話題に触れましょう。**

○興味をもっていることや趣味について話しましょう。分からない内容については、教えてもらいながら、関係を深めていきましょう。

**⑨登校刺激を与えるときは十分に配慮しましょう。**

○無理矢理登校させることのないように気を付けましょう。

**⑩復帰に向けた支援を検討しましょう。**

○本人に元気が出てきたら、友達と関わりを広げるなど、工夫をしましょう。また、学校での居場所として「ステップアップルーム」を準備しましょう。

**⑪保護者にも寄り添う姿勢で支援しましょう。**



● 長期欠席・不登校の具体的な対応

## ステップアップルーム等(別室)での居場所づくり

### ～具体的な目標や計画を立てる～

登校へのステップアップには、決まった順序はありません。ステップアップルーム等を活用し「また来たい」と思える、一人一人に合わせた支援が必要です。そのためにも、児童生徒と話し合いながら、達成可能な目標や活動計画を明確にすることが必要です。

### 校内の居場所づくりやステップアップ支援(例)

登校目標	留意点	ステップアップ
◎保護者と登校 ◎教師と登校 ○登校時刻の設定 ○登校回数の増加 	○校内の居場所となる「ステップアップルーム」を準備する ○必ず教師が付き添う ○温かい受け入れ体制をつくる ○信頼関係をつくる ○「また来たい」と思える声かけ ○状況に応じてSCとの面談を設定する	<b>〈登校へのステップアップ〉</b> ○放課後学校へ行き、担任に会う ○校門まで行く ○校舎まで入る ○前日に、翌日の登校準備をする ○朝、着替えて登校準備をする ○生活リズムを整え、午前中に登校 ○ステップアップルームに入る
◎一人で登校 ○登校時刻の設定 ○登校回数の増加 ○校内生活の延長 	○しっかりと話を聞き、共感的に受け止める ○子どもの状態を肯定的に受け止める ○徐々に教師や生徒との関わりを広げる ○興味や関心を引き出す ○やり遂げることができる簡単な課題を準備する ○「北九州子どもつながりプログラム」を活用する ○「コグトレ」を活用する ○徐々に学習する内容や教科を増やす ○ICTを活用する	○興味のあることを話す ○興味のあることに取り組む ○登校時間や活動内容など、少しずつできそうな目標を自分で決める ○目標に挑戦する ○誰もいない教室まで行く ○自分の席に座る ○教職員や仲の良い友達と話す 
◎毎日登校 	○徐々に教室へ行くよう工夫 ○約束を決めて活動する ○友達との関わりを促す ○苦手な教科の課題も準備 ○授業に沿った課題を準備	<b>〈教室へのステップアップ〉</b> ○通常登校し、別室で昼まで活動 ○友達と一緒に給食を食べる ○友達と昼休みを過ごす ○下校時間まで活動 ○学校行事に参加する ○参加できそうな授業を受けてみる
◎教室復帰	○自立への挑戦を支援する ○友人関係を広げる ○復帰後も見守りを続ける	○不安なことや気になることは相談する ○継続的にSCとの面談を行う

● 長期欠席・不登校の具体的対応

## ICTを活用した長期欠席・不登校支援

長期欠席・不登校児童生徒の状況は様々です。ICTを活用して、個に応じた「心のケア」や「学習の定着」を図るなど、ステップアップ支援を行ってください。

大切なことは、無理なく「またやってみたい」と思えることです。ステップが上がったり下がったりすることも考えられます。焦らず、本人の気持ちに寄り添いながら支援しましょう。

※家庭でGIGA端末を使用する場合は、Wi-Fi回線が必要となります。  
 ※校長・保護者の了解のもと行ってください。

※生徒が自宅でオンライン授業を受ける場合は、黒板を中心とした映像にするなど、肖像権の配慮が必要です。

### ステップ4



#### オンライン授業

##### 授業に参加

- 授業の雰囲気慣れる 等

### ステップ3



#### 学習にチャレンジ

##### やってみたい学習にチャレンジ

- すららドリル
- Qubena(キュービナ)
- 教育センター  
まなQチャンネル 等

### ステップ2



#### つながりを広げる

##### WEB会議システム等を使って、担任だけでなく、つながりを広げる

- 担任外の先生とも対話する
- 話せる友達とつながる
- 話したいことが話せる
- たくさん話せる 等

### ステップ1



#### 生活リズムを整える

##### WEB会議システム等を使って、担任と朝の会&帰りの会

- 生徒の参加できる日時を一緒に考えて設定する
- 慣れてきたら、日数を増やす
- 朝の会の時間を少しずつ早める
- 少しずつ時間を長くする
- 興味のある話をする 等

● 長期欠席・不登校の具体的対応